

金堂地区伝統的建造物の特性

付属屋			
区 分		土 蔵	納屋・いれがわと等
構 造		木造 大壁造	木造 真壁造
階 高		平屋建 二階建	平屋・中二階建 二階建
屋根 庇	形式	切妻 本屋根と置き屋根 からなる	切妻・入母屋または その複合型
	勾配	4寸5分	4寸5分から 5寸5分
	材料	日本瓦（いぶし瓦）葺	日本瓦（いぶし瓦）葺 1階庇は日本瓦葺 または金属板葺
壁面	壁	白漆喰仕上 中塗仕上 板張	白漆喰仕上 中塗仕上 板張
	腰板等	ささら子下見板張 豎羽目板張・舟板張	ささら子下見板張 豎羽目板張・舟板張
	開口部	出入口大戸は白漆喰 あるいは中塗塗り込め	木製腰高障子 ガラス戸・舞良戸 格子戸・雨戸・戸袋
	木部	素木 ベンガラ塗	素木 ベンガラ塗
基 礎		花崗岩切石等	花崗岩野面石 切石
その他			いれがわとは、石張の 階段が付く。